

The significance of a biobank, and its trend in the world

# バイオバンクの意義と国内外の動向

## 第1回 NCGM国際シンポジウム

The 1st International NCGM Symposium

入場無料

日時:平成24年11月16日(金) 13:00~17:25

会場:(独)国立国際医療研究センター5F 大会議場

(交通アクセス)●都営地下鉄 大江戸線 若松河田駅から徒歩5分 ●東京メトロ 東西線 早稲田駅から徒歩10分

●JR新大久保・大久保駅から徒歩5分 【飯62】都営飯田橋駅行バス、【橋63】新橋駅行バスで国立国際医療研究センター前下車

### 総合司会

増井 徹 (独)医薬基盤研究所、(独)国立国際医療研究センター臨床研究センター

### 開会挨拶

13:00~13:10

春日 雅人 (独)国立国際医療研究センター総長

### 基調講演

13:10~13:30

### 「個別化医療の実現の展望と課題-バイオバンクの意義を含めて」

門脇 孝 東京大学大学院医学系研究科教授、(独)国立国際医療研究センター理事

### 第1部

13:30~15:00

### 「バイオバンクの原理・実際・方向性」

座長:宮本 恵宏 (独)国立循環器病研究センター 研究開発基盤センター  
後藤 雄一 (独)国立精神・神経医療研究センター 神経研究所

#### ●Biorepositories-the Mayo Experience Stephen Thibodeau, Ph.D., FACMG

Director, Biorepositories Program, Center for Individualized Medicine,  
Professor, Co-Director, Molecular Genetics Laboratory, Mayo Clinic, USA

#### ●Biobanking: a Network of Networks Martin Yuille, Ph.D.

Reader in Biobanking/ Co-Director, CIGMR, University of Manchester, UK

#### ●Creating Sustainable Resources to Further Biobanking Practices Chana Rabiner, Ph.D.

Health Scientist Administrator, OBBR, National Cancer Institute, USA

休憩 15:00~15:15

### 第2部

15:15~16:45

### 「我が国におけるバイオバンクの将来」

座長:小野寺雅史 (独)国立成育医療研究センター 研究所  
新飯田俊平 (独)国立長寿医療研究センター 研究所

#### ●オーダーメイド医療実現化プロジェクトとバイオバンクジャパン

久保 充明 (独)理化学研究所 ゲノム医科学研究センター 多型解析技術開発チームリーダー

#### ●疾患コホートを基盤とするナショナルセンター・バイオバンクネットワークの構築

中釜 育 (独)国立がん研究センター研究所長

#### ●東北メディカル・メガバンク事業とその目指すもの

栗山 進一 東北大学災害科学国際研究所 災害公衆衛生学分野 教授 東北メディカル・メガバンク機構 バイオバンク部門長

### 第3部

16:45~17:15

### 総合討論

座長:満屋 裕明 (独)国立国際医療研究センター 臨床研究センター長  
加藤 規弘 (独)国立国際医療研究センター 研究所

### 閉会挨拶

17:15~17:25

木村 壯介 (独)国立国際医療研究センター病院長

主催



独立行政法人 国立国際医療研究センター

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1 TEL:03-3202-7181(代表) FAX:03-3207-1038 <http://www.ncgm.go.jp/>